

ぶらりまち紀行

椿の春は海からやって来る
その時を心待ちにしている人がいる
椿川とともに生き、地域の絆を育む人々の
心はやさしく、清らかで、華がある

地域の宝
〜
椿川ヒウオ祭り(椿町)



会場 つばき会館周辺
問い合わせは 同実行委
員会 栄原(☎090-
7576-16186)へ



第5回椿川ヒウオ祭り
日時 3月18日(日)
午前10時〜正午



寒さが残る2月上旬。椿川の河口付近では、春を迎える準備が始まる。孟宗竹と蚊帳網で作った「四つ手網」を川岸に据え、産卵のために遡上してくるヒウオ(シロウオ)を待つ。四方に小石を投げ込み、沈ませた網の上に魚を寄せてすくい上げる漁法は、200年前と変わらない伝統漁法。「簡単そうに見えるが技術がいるんよ」と漁師は語る。総勢32人。その顔ぶれは女性が多い。

桜のつぼみが膨らみ始める頃、ヒウオ漁は最盛期を迎える。桜並木の下には人だかりができ、水面を見つめながら春の訪れを楽しむ。こんな趣深い光景が見られるのは椿川だけになった。そんな地域の宝を守り続けているのが、椿ヒウオ協同組合を中心とした地元の有志。ヒウオ漁の魅力と春の珍味を楽しんでもらおうと、5年前からは「ヒウオ祭り」を開催している。そこで振る舞われるヒウオ料理は、ここでしか味わえない、とっておき。椿地域の人情と一緒に味わえば、きっとあなたも笑顔に。

椿に、春よ来い！

